

学位被授与者氏名	立山 慶彦（たてやま よしひこ）
論文題目	今日の学童保育クラブに求められるソーシャルワーク機能と課題
論文審査結果の要旨	<p>ソーシャルワークの理論を学童保育の事例に当てはめ考察しようとする努力は認められるが、もっと豊富で分析にふさわしい実践事例を収集することができれば、より実証的な研究になったであろう。事例をもとに、ソーシャルワーク導入の可能性を具体的に説いているがリアリティに欠ける。それは、ソーシャルワーク導入の課題としてあげた学童保育クラブ職員の労働条件、ソーシャルワーク研修の不備などの課題を抱えているからである。しかし、モデル事例の紹介では、先述した問題を抱えつつ、手本となるようなソーシャルワークの実践がなされている。これは特殊な例として取り上げているのか、論文全体の脈絡、論旨において、整合性が取れていないなど、精緻性に欠ける面もある。しかし、先行研究が少ない中、研究に取り組み、一つの仮説として提起したことは重要な意義があり、修士論文として評価できる。</p> <p>平成 30 年 2 月 13 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 B202 教室において、審査委員会全員出席の下で最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で、当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>